

第9回 6月21日の講義内容

- ケース&ディスカッション(2)
 - 尺度構成法について

6/21/06

1

例)車内マナーに関する意識調査

- サーストン尺度の構成
- リッカート尺度の構成

参考:「車内マナーに関する意識調査」2001年4月、
by (社)中央調査社

6/21/06

2

車内マナーに関する意識調査 (A)サーストン尺度の構成

- 質問文:通勤電車での行為
 - 携帯電話で会話している人
 - お化粧をしている人
 - ヌード写真の載った新聞・雑誌を読んでいる人
 - 音が漏れる音量でヘッドフォンを聞いている人
 - 脚を投げ出して座っている人
 - 居眠りしている人
 - 飲食している人

6/21/06

3

判定者に評点

1. 絶対すべきでない
2. すべきでない
3. どちらかといえばすべきでない
4. どちらともいえない
5. どちらかといえば構わない
6. 混雑してないときならよい
7. 全く構わない

6/21/06

4

判定者の評点分布

かぶっているのでうまくバラ
つくように質問文を作り直す

質問	評点分布							リッカート
	1	2	3	4	5	6	7	
a	4	6	4	2	1	1	1	2
b	0	3	5	5	3	1	2	4
c	0	1	3	1	6	6	2	5
d	6	9	1	2	0	1	0	2
e	7	8	1	1	0	1	1	2
f	0	0	1	1	0	3	14	7
g	0	1	6	4	1	6	1	4

双峰性を単峰性になるよう質問文を調整

6/21/06

5

車内マナーに関する意識調査 (B)リッカート尺度の構成

- 同じ質問に対し
 1. 構わない
 2. 許してもいい
 3. どちらともいえない
 4. やめたほうがいい
 5. 許されない
 のリッカート5評点で回答してもらう。

6/21/06

6

得点分布

(リッカート5点評点:OK1 NG5)

質問	回答者				
	1	2	3
a	4	2	4		
b	4	4	4		
c	2	4	4		
d	5	4	5		
e	4	5	5		
f	1	4	1		
g	2	4	3		
合計得点	22	27	26

各質問の得点の高低
25% (5人) ずつ取り出
して平均の差を検定
(GP分析)

合計得点の分散と
各質問の得点分散
からクロンバックの
係数を計算する

6/21/06

7

6/21授業終了後追加スライド

ケース「車内マナーに関する意識調査」

- ケース調査の課題 (報告要旨より)
 - 層化抽出をしているが、公共交通機関の利用者が2割しかいない。
 - 60歳以上の群の比率が高い
- 疑問と考えられる対策
 - 標本に問題はあるか。
 - もし標本に問題があるとすれば、どのように改善すれば良いか。

6/21/06

8

6/21授業終了後追加スライド

ディスカッション

- この調査で調べたいこと ⇒ 「車内マナー」の意識
- Q1: この調査は分析的調査か 記述的調査か
(2) (7)
- Q2: 設定母集団 (全国20歳以上の男女) は適切か。
 - No: 通学者 (中高生) が入っていない!!
- Q3: 抽出標本は適切か。
 - No: 年代別のコントロールができていない。
 - No: 実際に不愉快な体験をしていない人々が標本に多く含まれている。
 - マナーに敏感なのは通勤通学者以外では?
⇒ 何を調べたいかによって層の設定が変わる!

6/21/06

9